

# 第四期特定健康診査等実施計画

---

## 平和堂健康保険組合

最終更新日：令和 6 年 08 月 02 日

## 特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方 【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】			
No.1	<p>・健診受診率は過去5年大きな動きがない。伸びしろは被扶養者であり、受診率上昇に向けた対策の強化が必要。</p> <p>・直近3年連続健診未受診者が多く存在し、リスク状況が未把握の状況が長く続いている。</p> <p>・未受診者の中には普段から医療機関を受診している者も多く存在している。</p> <p>・勤務先で健診を受けている者もいる。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診未受診者への受診勧奨</li> <li>・個々の状況に合わせた介入</li> <li>・健診結果の取得方法の検討</li> </ul>
No.2	<p>・服薬者割合が増加傾向にあり、対象者割合は5年間でやや減少。正常群の割合が他組合と比べて低く、改善に向けた対策が必要。</p> <p>・他組合と比べ各年代で服薬者割合が高く、正常群割合が低い。薬剤に頼らない、正常群の割合を高める働きかけが必要。</p> <p>・特定保健指導対象者の内、リピーターの対象者の割合が高い。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社と共同で特定保健指導の重要性・必要性の認知度を高める。</li> <li>・保健指導参加機会の提供・周知</li> <li>・保健指導のマンネリ化対策</li> <li>・若年者に対し、将来的なリスクを低減させる取り組みを行う。</li> </ul>
No.3	<p>・被保険者は女性比率の割合が高く、平均年齢も他健保より高い。</p> <p>・加入者数の増加に伴い総医療費も経年で増加傾向。</p> <p>・高齢化により生活習慣病や悪性腫瘍のリスクが高まる。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期高齢者に移行する前に医療費を抑制する必要がある。</li> <li>・生活習慣病や悪性腫瘍のリスク抑制に向けた対策の強化が必要。</li> </ul>
No.4	<p>・医療費の構成割合において「内分泌、栄養及び代謝疾患」「循環器系」などの生活習慣病関連および、新生物が上位に位置しており、予防に向けた対策の強化が必要。</p> <p>・リスク者である患者予備群・治療放置群の割合が減少する反面、重症化群の割合が年々増加。</p> <p>・生活習慣病リスク者分布において、過去と比べ正常群の割合が大幅に減少し、リスク者である患者予備群、治療中の割合は過去と比べ増加。</p> <p>・生活習慣病受診勧奨域にもかかわらず2年連続治療放置者が多く存在する。医療機関未受診による重症化が疑われる者が存在する</p> <p>・3大生活習慣病においては経年で医療費が増加傾向。また重症化疾患においては脳血管疾患の医療費が増加傾向となっている</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病ハイリスクまた未通院者に対して、早期に治療を受けるように受診を促し、疾病の重症化を防ぐ。</li> <li>・重症化予防として早期治療に繋げるための対策強化が必要。</li> <li>・対象者の事業参加状況を経年で確認し、対象者に合わせた介入を実施する。</li> <li>・対象者の参加率を上げるため、案内方法の工夫が必要。</li> </ul>
No.5	<p>・生活習慣病治療中断の恐れがある群が存在し、リスクが高い状態で放置されている可能性がある。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者本人に状況を確認のうえ、本人の判断によって放置している場合は受診を促し、重症化を予防する。</li> <li>・事業主との連携を検討する。</li> </ul>
No.6	<p>・腎症のアンコントロール者の内、まだ打ち手が可能と思われる糖尿病のみの群および、腎機能低下疑いの群については個別の介入が必要。</p> <p>・腎症病期に該当する人数は年々増加傾向。人工透析導入の防止に向け、病期進行の食い止めにに向けた対策の強化が必要。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎症ハイリスクかつ未通院者に対して、早期に治療を受けるように受診を促し、疾病の重症化を防ぐ。</li> </ul>
No.7	<p>・＜ヘルスリテラシー＞健康状況：血圧・血糖が他組合を大きく下回り、改善に向けた対策の強化が必要。</p> <p>・＜ヘルスリテラシー＞生活習慣：食事・睡眠が他組合を下回り、改善に向けた対策の強化が必要。</p> <p>・血糖の項目では男性・女性被保険者共に過去からリスク者割合が増加傾向にあり、他組合と比べてもリスク者割合が高く、改善に向けた対策が必要である。</p> <p>・健保全体として、食習慣の問診状況が悪い。食事に関する対策の検討が必要である。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した健康イベント等を展開し、運動習慣・食事習慣など改善の意思を高める。</li> <li>・健康動画等の配信等健康リテラシーを高める対策を実施する。</li> <li>・健康教室等を開催し、正しく生活習慣の改善と継続に繋げる。</li> </ul>
No.8	<p>・他組合と比べて女性の喫煙率が高い。</p> <p>・喫煙率は緩やかな減少傾向にあるが、直近は下げ止まっている印象があり、改善に向けた対策の強化が必要。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙者への禁煙促進施策</li> <li>・頻回な禁煙機会の提供</li> </ul>
No.9	<p>・加入者全体の内約半数が一年間一度も歯科受診なし。その内3年連続未受診者は半分以上と非常に多く、これら該当者への歯科受診勧奨が必要。</p> <p>・重症化を防ぐため加入者全体に向けて定期（早期）受診を促す必要がある。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科に対する正しい知識をリスク状態の把握および自覚を促す。</li> <li>・有所見者に対し歯科受診勧奨を行う。</li> </ul>
No.10	<p>・その他のがんを除き、乳がん、肺がんの順で多い。これらの結果からも早期発見、早期治療による対策の重要性を今一度認識し、適切な事業を展開する必要がある。</p> <p>・便潜血陽性者における医療機関受診者の内3人（2.5%）が悪性腫瘍として診断。医療機関未受診者にも悪性患者が同じ割合で存在すると仮定すると、4人が潜んでいることが想定される。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性加入者が多いことから、特に女性がん検診を強化する。</li> <li>・毎年(2年に1回)のがん検診を促進し、早期発見に繋げる。</li> <li>・要精検未受診者に対する受診勧奨を強化し、早期受診に繋げる。</li> </ul>
No.11	<p>・＜ジェネリック医薬品＞被保険者50代が最も削減期待値が大きい。（現状で先発品の薬剤費シェア率が高い）</p> <p>・＜ジェネリック医薬品＞全て最安値の後発品に切り替えた場合、大きな薬剤費の減少が見込める。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全加入員への継続的な啓蒙活動の実施。</li> <li>・後発医薬品への切替余地があるターゲットへ重点的に切替を促す。</li> </ul>
No.12	<p>・薬剤処方において有害事象の発生リスクが高まる「6剤」以上の併用が見られる加入者が多く存在する。</p> <p>・頻回およびはしご（重複）受診が認められる加入者が、特に50歳以上に多く存在する。</p> <p>・前期高齢者は加入者数及び患者あたり医療費の増加に伴い総医療費も増加傾向。納付金対策として前期高齢者になる前からのケア及び、前期高齢者向けの対策が必要。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害事象が疑われる加入者に対し、服薬の適正化を図るための介入を行う。</li> </ul>
No.13	<p>患者数は新型コロナウイルスの影響で激減していたが、直近年度では過去年度ほどではないが大幅に増加。予防接種など発症および重症化予防に向けた取り組みの継続が必要。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ予防接種補助金申請の簡素化を進める。</li> </ul>

No.14	経年で受療率が増加傾向。特に被保険者においてはプレゼンティーズムや傷病手当金の観点からも事業主との情報連携が必要であることと、セルフケアの理解を深めるための働きかけが必要。	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態および課題を事業主と共有し、解決策の検討材料とする。</li> <li>・睡眠に着目した心身のメンテナンスのための取組みの実施。</li> <li>・eラーニング等により理解を深め意識向上を促す。</li> </ul>
-------	--	---	---

**基本的な考え方（任意）**

-

**特定健診・特定保健指導の事業計画 【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】**

**1 事業名** 特定健康診査 対応する健康課題番号 **No.1**

↓

<p><b>事業の概要</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：被保険者/被扶養者</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td>被保険者は母体企業の定期健康診断を実施。被扶養者及び任意継続者は自宅へ受診票を送付。未受診者には受診勧奨を送付し健診受診を促す。さらに被扶養者には健診結果の提供依頼をし、提供いただいた方には1,000円分の商品券をプレゼントする。</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>4月「受診券」の配布。6月「巡回レディース健診」をサポート事業で実施し、さらに昨年度未受診者には未受診者対策として「アンケート」を実施。</td> </tr> </table> <p><b>実施計画</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> </tr> <tr> <td>・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施</td> <td>・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施</td> <td>・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施</td> </tr> <tr> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> <tr> <td>・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施</td> <td>・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施</td> <td>・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施</td> </tr> </table>	対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：被保険者/被扶養者	方法	被保険者は母体企業の定期健康診断を実施。被扶養者及び任意継続者は自宅へ受診票を送付。未受診者には受診勧奨を送付し健診受診を促す。さらに被扶養者には健診結果の提供依頼をし、提供いただいた方には1,000円分の商品券をプレゼントする。	体制	4月「受診券」の配布。6月「巡回レディース健診」をサポート事業で実施し、さらに昨年度未受診者には未受診者対策として「アンケート」を実施。	R6年度	R7年度	R8年度	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	R9年度	R10年度	R11年度	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	<p><b>事業目標</b></p> <p>健康状態未把握者を減少させることでリスク者の状況を把握し、適切な改善介入に繋げるための基盤を構築する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">評価指標</td> <td style="width: 15%;">アウトカム指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>内臓脂肪症候群該当者割合</td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td>8%</td> <td>8%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>被扶養者特定健診実施率</td> <td>50%</td> <td>55%</td> <td>60%</td> <td>65%</td> <td>70%</td> <td>75%</td> </tr> </table>	評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	内臓脂肪症候群該当者割合	10%	10%	10%	8%	8%	8%	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度		被扶養者特定健診実施率	50%	55%	60%	65%	70%	75%
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：被保険者/被扶養者																																																
方法	被保険者は母体企業の定期健康診断を実施。被扶養者及び任意継続者は自宅へ受診票を送付。未受診者には受診勧奨を送付し健診受診を促す。さらに被扶養者には健診結果の提供依頼をし、提供いただいた方には1,000円分の商品券をプレゼントする。																																																
体制	4月「受診券」の配布。6月「巡回レディース健診」をサポート事業で実施し、さらに昨年度未受診者には未受診者対策として「アンケート」を実施。																																																
R6年度	R7年度	R8年度																																															
・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施																																															
R9年度	R10年度	R11年度																																															
・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施	・人間ドックデータの取り込み・未受診者を抽出し、未受診者対策を実施																																															
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																										
	内臓脂肪症候群該当者割合	10%	10%	10%	8%	8%	8%																																										
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																										
	被扶養者特定健診実施率	50%	55%	60%	65%	70%	75%																																										

**2 事業名** 特定保健指導 対応する健康課題番号 **No.2**

↓

<p><b>事業の概要</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">対象</td> <td>対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：加入者全員</td> </tr> <tr> <td>方法</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務時間中に実施可能とする</li> <li>・委託業者が各店舗、事業所を巡回、またはタブレットを活用し面談を実施</li> <li>・ICT指導を活用し、実施機会を拡大する</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>事業主・医療機関・サービス提供者者と連携して進めていく。</td> </tr> </table> <p><b>実施計画</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> </tr> <tr> <td>健康サポート事業のRIZAP保健指導を新たに実施する。該当者に合った方法の指導を実施する。</td> <td>対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す</td> <td>対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す</td> </tr> <tr> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> <tr> <td>対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す</td> <td>対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す</td> <td>対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す</td> </tr> </table>	対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：加入者全員	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務時間中に実施可能とする</li> <li>・委託業者が各店舗、事業所を巡回、またはタブレットを活用し面談を実施</li> <li>・ICT指導を活用し、実施機会を拡大する</li> </ul>	体制	事業主・医療機関・サービス提供者者と連携して進めていく。	R6年度	R7年度	R8年度	健康サポート事業のRIZAP保健指導を新たに実施する。該当者に合った方法の指導を実施する。	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	R9年度	R10年度	R11年度	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	<p><b>事業目標</b></p> <p>保健指導実施率の向上および対象者割合の減少</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">評価指標</td> <td style="width: 15%;">アウトカム指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率</td> <td>22%</td> <td>24%</td> <td>26%</td> <td>28%</td> <td>30%</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特定保健指導実施率</td> <td>60%</td> <td>65%</td> <td>70%</td> <td>75%</td> <td>80%</td> <td>85%</td> </tr> </table>	評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	22%	24%	26%	28%	30%	32%	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度		特定保健指導実施率	60%	65%	70%	75%	80%	85%
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～（上限なし）、対象者分類：加入者全員																																																
方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務時間中に実施可能とする</li> <li>・委託業者が各店舗、事業所を巡回、またはタブレットを活用し面談を実施</li> <li>・ICT指導を活用し、実施機会を拡大する</li> </ul>																																																
体制	事業主・医療機関・サービス提供者者と連携して進めていく。																																																
R6年度	R7年度	R8年度																																															
健康サポート事業のRIZAP保健指導を新たに実施する。該当者に合った方法の指導を実施する。	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す																																															
R9年度	R10年度	R11年度																																															
対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す	対象者に対し十分な実施機会を提供し、実施率の向上を目指す																																															
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																										
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	22%	24%	26%	28%	30%	32%																																										
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																										
	特定保健指導実施率	60%	65%	70%	75%	80%	85%																																										

3 事業名 半日人間ドック・脳ドック

対応する健康課題番号 No.1



事業の概要		事業目標						
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：35～（上限なし）、対象者分類：加入者全員	疾病予防、早期発見、早期治療						
方法	35歳以上の希望する本人・家族に健保が契約する医療機関で自己負担額が人間ドック12,000円、脳ドック10,000円で受診。	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
体制	契約医療機関に限る。	評価指標	これまでの経緯で実施する事業 (アウトカムは設定されていません)					
		アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		利用者	190人	200人	200人	200人	200人	200人
実施計画								
R6年度	R7年度	R8年度						
35歳以上の希望する本人・家族に健保が契約する医療機関で自己負担額が人間ドック12,000円、脳ドック10,000円で受診。	希望の機関で希望のコースで受診いただき、WEB申請により費用を補助する。また補助金額と対象年齢の見直しを実施。	希望の機関で希望のコースで受診いただき、WEB申請により費用を補助する。						
R9年度	R10年度	R11年度						
希望の機関で希望のコースで受診いただき、WEB申請により費用を補助する。	希望の機関で希望のコースで受診いただき、WEB申請により費用を補助する。	希望の機関で希望のコースで受診いただき、WEB申請により費用を補助する。						

4 事業名 60歳代前半者への無料人間ドック

対応する健康課題番号 No.1, No.3



事業の概要		事業目標						
対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：63～63、対象者分類：加入者全員	65歳以後の疾病発症・重症化予防と適正受診。						
方法	63歳全員に無料の人間ドック案内を実施。専用申請書に領収書を添付して申請。	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
体制	契約機関に限る。	評価指標	利用率					
		アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		人間ドック受診動員率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
実施計画								
R6年度	R7年度	R8年度						
63歳全員に無料の人間ドック案内を実施。専用申請書に領収書を添付して申請。	63歳全員に無料の人間ドック案内を実施。専用申請書に領収書を添付して申請。希望の検査機関・コースでの実施を可とする。補助の金額の見直しを検討。	63歳全員に無料の人間ドック案内を実施。専用申請書に領収書を添付して申請。希望の検査機関・コースでの実施を可とする。						
R9年度	R10年度	R11年度						
63歳全員に無料の人間ドック案内を実施。専用申請書に領収書を添付して申請。希望の検査機関・コースでの実施を可とする。	63歳全員に無料の人間ドック案内を実施。専用申請書に領収書を添付して申請。希望の検査機関・コースでの実施を可とする。	63歳全員に無料の人間ドック案内を実施。専用申請書に領収書を添付して申請。希望の検査機関・コースでの実施を可とする。						

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。